

作成日：R3年4月5日

令和2年度第9回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和3年3月12日（金）
時間	10：30－11：30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室
参加機関等	香川中部養護学校・高松養護学校・高松市健康づくり推進課・高松市障がい福祉課・三木町福祉介護課・かがわ総合リハビリテーション成人支援施設・障害者就業・生活支援センターオーブ・障害者生活支援センターたかまつ・相談支援センターりゅうん・発達障害者支援センター「アルプスカガワ」・地域生活支援センターこだま・支援センターこがも・高松市社会福祉協議会訪問介護事業所・地域活動支援センタークリマ・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計17名

議題1：各部会等活動報告	
議事	<p>主な報告内容)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療的ケア部会：来年度については、県の動向も見ながら母子保健コーディネーターと相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーターの連携について進めていきたい。</li><li>・居宅サービス事業所連絡会：居宅サービス事業所へのアンケートについて、集計作業中。</li><li>・地域生活支援拠点検討部会：緊急時対応合同研修会を3回に分けて実施した。相談支援事業所、生活介護事業所、短期入所事業所を対象にし、計47名の参加を得た。自分を示すカード等を作成し、災害時これを用いて他者に助けを求めるための練習をしている等、災害時の備えを優先的に検討している事業所が多いとアンケートから明らかになった。作成したまとめを参加事業所と共有し、今後に活かしたい。</li><li>・就労支援部会：1/16に「しごとサロンたかまつ（就労相談会）」実施。コロナ対策のため事前予約制をとり、9名の参加があった。「就労移行支援事業所ガイドブック」の完成は3/20以降になる見込み。</li><li>・精神保健福祉部会（事務局より代理報告）：ピアサポート活動推進WGについて、7機関への周知活動を実施した。来年度も継続して各機関とピアサポーターとの交流を進める予定。</li></ul>

	<p>・相談支援部会：2月部会についてメール上での会議とした。新型コロナウイルスにより大人数での会議への参加のしづらさがある。3月部会にて zoom の活用についてレクチャーする場を設ける予定。障がい児の短期入所の不足、24時間支援体制の構築について WG を立ち上げる。計画相談終了時の確認事項の検討、緊急時対応プランの検証について来年度研修会を実施したい。また、就学前からのライフステージをつなぐ支援について、こども部会とのコラボ企画での研修会の実施を検討したい。</p> <p>・発達障害部会：高校生ガイドブックについて、500部作成して県内すべての高校に配布予定。QRコードを作成し、協議会ホームページ上からダウンロードできるようにもする。内容は危機管理編として特に SNS に関することを扱っている。</p> <p>→養護教諭等も含め、しっかりとガイドブックが現場の職員に渡るよう配慮して欲しい、特別支援学校にも配布して欲しい等の意見あり。</p> <p>・こども部会：福祉サービスに関するアンケート集計作業中。</p> <p>※、身体障害者支援部会、当事者団体・家族会連絡会は欠席のため報告なし。知的障害者支援部会については特記なし。</p>
決定事項	—
今後の動き	—

議題2：事務局からの報告	
議事	<p>主な報告内容)</p> <p>・B型検討会の報告：3回の会議とアンケート調査を実施した結果、来年度部会を設ける方向で検討したい。圏域内に60程ある事業所の集まりとなるため、4ブロックに分ける、オンラインを活用する等の工夫も検討中。</p> <p>・協議会で発生した講師料や旅費に対する源泉徴収事務の整備について：来年度に向け検討中。</p> <p>※災害時WGの報告については添付資料の通り。</p>
決定事項	—
今後の動き	—

令和2年度第9回高松圏域自立支援協議会運営会議

日時) 令和3年3月12日(金) 10:30-11:30

場所) かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室

参加者) 香川中部養護学校 高松養護学校

高松市健康づくり推進課 高松市障がい福祉課 三木町福祉介護課 直島町住民福祉課(欠)

就労支援部会) かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと(欠)

相談支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ

身体障害者支援部会) 障害者生活支援センターあい(欠)

知的障害者支援部会) 相談支援センターりゅうん

発達障害部会) 発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会) 地域生活支援センターこだま 医ケアプロジェクト) 支援センターこがも

当事者団体・家族会連絡会) 相談支援事業所ライブサポートセンター(欠)

居宅サービス事業所連絡会) 高松市社会福祉協議会訪問介護事業所 地域活動支援センタークリマ

会長、事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

\*次回=令和3年4月9日(金) 10:30-11:30 かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室

令和2年度目標

- ①利用者により質の高いサービスを提供できるようにするために、連携の推進を念頭に、協議会全体、各部会等の活動を実施する。
- ②運営会議の活性化に取り組み、各部会等の取り組みの共有と部会等間の連携がより進み、また、協議会に寄せられた課題への取り組みが明確になることを目指す。
- ③障害者の権利擁護と虐待の防止について、広く関係機関で学ぶ場を設け、理解を深める。また、成年後見人制度の理解とその利用促進に向けて、圏域の実態を調査して圏域内の中核機関等との連携について検討する。

議題)

①各部会等、事務局報告(★マークから報告開始)

○就労支援部会

○精神保健福祉部会

2月部会報告資料あり

○相談支援部会

2月部会はメール上での会議としました。今年度の振り返りと来年度の取り組みについての意見をいただき8日(月)にコアメンバーで会議を行う予定です。その内容について報告します。

○身体障害者支援部会

○知的障害者支援部会

○発達障害部会

当日資料あり。

○こども部会

福祉サービスのニーズアンケートの結果をお見せしたいと考えています。運営会議までに間に合えばメールでデータを事務局に添付します。

○医療的ケア部会★

○当事者団体・家族会連絡会

○居宅サービス事業所連絡会

○地域生活支援拠点検討部会

3/1・8 緊急時対応合同研修会を実施しました。当日資料あり報告します。

## ②事務局より

- ・B型検討会の報告（圏域内就労継続支援B型事業所に係る課題整理の検討会）
- ・第3回災害時ワーキング（資料参照）
- ・協議会で発生した講師料や旅費に対する源泉徴収事務の整備について

## ③その他

作成日 令和3年2月19日  
作成者：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

令和2年度第5回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会議事録

日付	令和3年2月19日(金)
時間	10:00~11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター2階第1研修室
	障害者地域生活支援センターほっと、三光病院、大西病院、東讃保健福祉事務所、ピアサポーター、相談支援事業所EVEN、竜雲メンタルクリニック、高松市障がい者基幹相談支援センター 順不同 計10名

議題1：保健・医療と福祉の連携ワーキンググループ（以下WG）の報告	
議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・周知・アピールの仕方について検討していく必要がある。</li><li>・コロナ禍で医療機関ではリモート面会が続いている。医療機関との交流をしていくためにはオンラインを利用してつながることも大切</li><li>・医療との連携について部会でできることを考えてく。</li></ul>
決定事項	2月26日(金) 18:30~20:30 部会メンバーでZoomを実際に利用、体験をする。
今後の動き	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年も保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップは開催していく方向</li><li>・Zoomの活用を継続的に行い、メリットデメリットについて検討をしていく。</li><li>・次回WG 3月19日(金) 10:00~11:00</li></ul>

議題2：ピアサポート活動推進WGの報告	
議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年1月21日(木)WGの報告 各機関への周知活動の報告、出てきた課題について共有し、当事者へ向けた周知内容について検討した。ピアサポーターの想いを伝え、なりたい人、活用したい人両方へ向けた周知をしていく。周知後にアンケートを口頭で実施することを決めた。</li><li>・チラシを持参し、周知啓発活動を行ったことで来年度の取り組みにつ</li></ul>

	<p>ながった。周知活動後のアンケートでも理解できた、興味を持ったという回答は多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーターの有効性について、事業所によって温度差がある。具体的にイメージを持っていない支援者にも有効性を伝えていく方法を検討していく必要がある。</li> <li>・ピアサポート活動に興味がある方に定期的に交流する場が必要。</li> <li>・来年度から報酬改定があり、ピアサポーターへのニーズは高まる可能性がある。</li> <li>・今の活動を大切にしながら、研修や発表する場の設定等も検討必要</li> </ul>
決定事項	なし
今後の動き	<p>次回令和3年3月18日(木) 14:00~15:00 WG実施。来年度の方向性について検討していく</p>

議題3：スーパーバイザー派遣、ピアサポーター派遣について	
議事	<p>(1) 精神障がい者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に関わる事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年12月3日(木) 高松市内グループホーム 「グループホームにおける精神障がい者支援に関する事例検討」</li> <li>・令和3年12月25日(金) 高松市地区民生委員児童委員協議会 「地域で生活されている精神障がい者の理解について」</li> <li>・令和3年1月12日(火) 圏域外保健福祉事務所「家族の学習会」 サポートマップの資料を活用し説明。計画のプロセスや導入のタイミング、サービス利用の前段階から相談をしていくことを伝えた。</li> <li>・令和3年2月15日(月)16日(火) 高松市内訪問介護事業所 「精神障がいの理解、かかわり方について」</li> </ul> <p>(2) ピアサポートの活用に係る事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年12月2日(水)、1月20日(水)、2月17日(水) 市内在住の精神障がい者宅 保健師同行のもと、ピアサポーターによる相談支援</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年12月3日（木） 老人介護支援センター相談支援協力員</li> </ul>
今後の動き	<p>(1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年2月25日（木） 圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会 高松圏域における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築の過程についてピアサポート体制の構築、精神科病院への働きかけを中心に報告</li> <li>・令和3年2月26日（金） 圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会 高松圏域において角形機関とのネットワークをどのように形成してきたのか事例を通して解説したうえで、当該圏域では、どのように取り組むべきか検討をする。</li> </ul>

議題4：高齢者分野との連携に関する報告	
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WG内で決定した「精神科病院からの退院支援における取り決め」について部会内で最終確認を行った。</li> <li>・退院時支援をお願いする際に、前住所地の管轄の相談先でいいのか見当が必要</li> <li>・ケアマネージャーとの研修をWGと一緒に出来たらいいのではないか</li> </ul>
決定事項	来年度4月以降で作成に至った経緯や鏡文等の資料を作成し、自立支援協議会会長の名で精神科病院、相談支援専門員、ケアマネージャー、訪問看護ステーションに周知をしていく。
今後の動き	次回WG：3月16日（水）13：30～14：30

議題5：精神科病院の地域移行に関する取り組み報告	
議事	各病院での動きを報告
決定事項	来年度の取り組みについてコロナ禍の状況や制限も整理していきながら病院内で検討し、方向性を決めていく
今後の動き	変更等あれば部会で共有をする。

令和2年度 発達障害部会事務局会の報告  
（3月12日実施分）

<今年度の事業結果>

○市町窓口職員対象の啓発研修

- 1) 高松市 3月15日（月）に実施  
→ 発達障害の基礎的な理解（座学）+ 実例をもとに意見交換
- 2) 三木町 3月23日（火）に実施  
→ 発達障害の基礎的な理解（座学）

○高校生ガイドブック

- ・入稿 3月3日（水）
- ・校正 3月8日（月）
- ・校正 3月12日（金）
- ・完成 3月26日（金）

<次年度の事業計画(案)>

- 1) これまでに作成したガイドブックの活用&啓発を検討  
令和1～2年度に作成した2冊のガイドブック（日常生活編とネット問題編）の活用を促すことと、それを用いた発達障害についての啓発活動を行う。
- 2) 中讃圏域自立支援協議会で新たに発足する『発達障害支援部会』とのコラボ  
令和3年度に県内で新たに発足する上記部会に対して情報提供を行い、協働を働きかける。

※) 2月26日実施の事務局会および1月22日実施の定例会で確認・協議した内容です。



高松圏域自立支援協議会 第3回災害時ワーキンググループ

日時：令和3年2月17日（水）13：30～15：0

議題①モデルケースの確定 3名

議題②モデルケースに対する災害時プランの作成をどう進めるか

基本的な流れについて、以下の通り確認、確定する。

- ①本人・家族に対してモデルケースとして災害時プランを作成することの同意を得る
- ②アセスメントの実施（災害発生時の懸念を把握、対処法について検討）  
アセスメントに並行して高松市避難行動要支援者名簿の登録手続きをする
- ③各地域で作成されている「災害時個別支援計画」の様式に沿って、計画案を作成
- ④案を持って、地域住民を交えてのケア会議を実施し、「災害時個別支援計画」を完成させる
- ⑤本人・家族の同意を得て、ケア会議の参加機関に「災害時個別支援計画」を配布
- ⑥実際に避難を体験する（→結果必要に応じて再度ケア会議、計画を修正、配布）

他、確定したこと。

基本的な流れ①の同意取得者を決定。説明の際は協議会のパンフレットも用いる。

同意書については、事務局で再度案を作成し、次回ワーキンググループまでにメールにてメンバーに意見を募る。

基本的な流れ②のアセスメント作成者は保健師。アセスメントに用いるツールは、「在宅人工呼吸器使用 災害時個別支援計画」

次回再検討すること。

基本的な流れ③以下について、モデルごとに具体的な段取り（特に地域住民の協力をどのように得るか）を確認し、担当者を確定させる。

その他特記。

モデル2はすでに高松市避難行動要支援者名簿への登録がある（地域に情報がすでに渡っている）が、モデル1と3は新規で登録手続きが必要。

モデルケースを元に、この仕組みを圏域内に広げていくことを想定して具体的な流れを検討していく必要がある。

次回3月24日（水）13：30～15：00、場所：高松市社会福祉協議会 西館小会議室

【令和2年度 高松圏域自立支援協議会 運営事業予算管理表】

■収入の部

項目	予算	実績
1.委託料	1,000,000	1,000,000
2.医ケア部会研修参加費	0	2,000
合計	1,000,000	1,002,000

■支出の部

No	部会名	最終調整 予算	支払額	予算との差額	消化率	科目別予算内訳				雑費その他	支払内訳	
						報償費	旅費交通費	消耗品費	印刷製本費			通信運搬費
1	就労支援部会	157,000	16,144	140,856	10%	0	0	3,529	2,640	9,975	0	●シブチレンジエトロンにかまっ(チラシ印刷・束縛着手土産) / 雁野フォーラム(イラネラー講師 精進旅館-資料印刷)●香林一蔵みゆり分庁職員会・イベント委員会・A型委員会・就労移行 目会-全体会印刷代/郵送費
2	精神保健福祉部会	62,440	61,804	636	99%	46,000	0	0	13,200	2,604	0	●ピカポータWG諸金 ●部会資料印刷費 ●郵送代
3	相談支援部会	32,280	12,210	20,070	38%	0	8,910	0	3,300	0	0	●部会資料印刷代 ●研修資料印刷代 ●広島県出張印刷費 ●事務用品費
4	身体障害者支援部会	80,000	16,450	63,550	21%	0	0	0	16,450	0	0	●講師報酬費・旅費代 ●印刷(アンケート報告・研修資料印刷(部会時資料)) ●雑費
5	知的障害者支援部会	8,650	7,990	660	92%	4,000	0	0	3,990	0	0	●部会資料・アンケート印刷 / 印刷諸金
6	発達障害部会	170,630	11,130	159,500	7%	0	0	0	8,330	2,800	0	●ガイドブック印刷代 ●部会資料印刷代 ●おこなごまのための本・印刷・郵送
7	こども部会	40,812	39,778	1,034	97%	5,000	0	5,324	10,890	18,564	0	●予選委員会(郵送・印刷代) ●ニーズアンケート(郵送・印刷代) ●部会資料印刷代 ●折 紙 ●文具購入
8	医療的ケア部会	24,680	35,278	-10,598	143%	12,000	0	110	23,000	168	0	●医療的ケア部会手帳(部会連帯金12,000円/10部) ●部会研修資料印刷代 ●家 族会研修資料印刷代 ●研修資料印刷代 ●郵送
9	居宅サービス事業所連絡会	51,000	22,786	28,214	45%	0	0	500	8,580	13,706	0	●サービス提供責任者研修講師諸金 ●研修資料印刷代 ●部会資料印刷 費
10	当事者団体・家族会連絡会	148,012	147,954	58	100%	0	0	1,854	145,200	900	0	●コミュニケーションボード作成(研修・印刷・文具・郵送代)
11	地域生活支援拠点検討部会	74,323	33,440	40,883	45%	12,000	0	0	21,440	0	0	●部会運営資料印刷 ●強行動隊SWA諸金 ●研修講師諸金 ●研修資料印刷代 ● 会場費 ●WG資料印刷代
12	事務局	150,173	165,360	-15,187	110%	0	0	550	70,790	9,320	84,700	●HP更新・管理経費(7年分) ●文具 ●印刷費(研修・運営会議・全体会等) ●切 手(公文書郵送費用)
	合計	1,000,000	570,324	429,676	57%	79,000	8,910	11,867	327,810	58,037	84,700	

R3年3月7日 現在